

表10-3 プランクトン同定計数結果

亀山ダム貯水池

採取地			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取年月日			H 21. 4. 13	H 21. 4. 13	H 21. 4. 13	
採取時刻			11:30	12:45	12:15	
全水深 (m)			16.6	14.8	15.7	
採取水深 (m)			0.20	0.20	0.20	
採水量 (ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	10	40	90
2	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium sp.			4
3			Peridinium sp.	3		3
4	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon spp.	+	70	70
5		珪藻	Amphora sp.			+
6			Asterionella formosa	20	2	12
7			Melosira varians		1	
8			Synedra acus	30	20	110
9			Thalassiosiraceae-5	820	1040	180
10			Thalassiosiraceae-10	50	20	150
11			Thalassiosiraceae-25			20
12	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	18	18	19
13	緑色植物	緑藻	Chlamydomonas spp.		10	4
14			Chodatella chodatii	10		
15			Closteriopsis longissima			10
16			Monoraphidium spp.	20		20
17			Oocystis sp.		2	
18			Pandorina morum	16		80
19			Pediastrum tetras			80
20			Scenedesmus ecornis	18	8	4
21			Scenedesmus quadricauda	4		
22			Staurastrum sp.	2		
23			CHLOROPHYCEAE		60	10
24	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.		1	1
25		-	CILIOPHORA		1	3
26	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA			4
27	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	320	100	340
28			鞭毛藻	60	40	200
29			鞭毛虫	120	220	420
総数			1521	1653	1834	
種類組成			藍藻	0	0	0
			クリプト藻	10	40	90
			渦鞭毛藻	3	0	7
			黄金色藻	0	70	70
			珪藻	920	1083	472
			ユーグレナ藻	18	18	19
			緑藻	70	80	208
			その他の植物性動物性	380	140	540
				120	222	428
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
			検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。		
備考			<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 			

亀山ダム貯水池

採取地			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日			H 21. 5. 12	H 21. 5. 12	H 21. 5. 12
採取時刻			10:55	11:40	10:15
全水深 (m)			17.5	15.7	16.8
採取水深 (m)			0.20	0.20	0.20
採水量 (ml)			100	100	100
No.	門	綱	出現種名		
1	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	210	90
2	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella		1
3	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon spp.	24	270
4			Mallomonas akrokomos	30	30
5			Mallomonas spp.	15	66
6		珪藻	Asterionella formosa	157	80
7			Aulacoseira ambigua	+	+
8			Thalassiosiraceae-5	1040	1400
9			Thalassiosiraceae-10	50	100
10	ユーグレナ植物		ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	30
11	緑色植物	緑藻	Chlamydomonas spp.	20	50
12			Coelastrum spp.	120	56
13			Elakatothrix sp.		+
14			Eudorina elegans		64
15			Oocystis spp.	80	+
16			Pandorina morum	32	+
17			Pediastrum duplex		30
18			Schroederia setigera	40	40
19			Sphaerocystis schroeteri	+	
20	節足動物	甲殻	CRUSTACEA		2
21	輪形動物	輪虫	Polyarthra sp.		1
22	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium sp.		1
23		-	CILIOPHORA	1	2
24	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	660	1000
25			鞭毛藻	40	60
26			鞭毛虫	40	20
総数			2589	3210	14292
種類組成			数		
			藍クリプト藻	0	0
			渦鞭毛藻	210	90
			黄金色藻	0	1
			珪藻	69	366
			ユーグレナ藻	1247	1580
			緑藻	30	0
			その他の植物性動物性	292	90
				700	1060
				41	23
検査条件			固定条件		
			定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定 (1%) 定性試料：無処理		
			分離条件		
			定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット (5 μmメッシュ) により10倍に濃縮した。		
			検鏡条件		
			定量試料：標準プランクトン計数板 (0.1ml) に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡 (100~ 400倍) で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。		
備考					
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に () を付した。 定量検鏡 (計数時) において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別 (3種類) に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径 (3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm) で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 					

亀山ダム貯水池

採取地		採取年		採取時		採取水		堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
		月 日		時 刻		深 (m)		H 21. 6. 8	H 21. 6. 8	H 21. 6. 8
						量 (ml)		11:15	11:45	10:46
								17.3	15.7	16.7
								0.20	0.20	0.20
								100	100	100
No.	門	綱	出現種名							
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (直線トリコーム)							(20)
2			Oscillatoria spp.					(30)		(10)
3			Phormidium sp.					(10)		
4	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.		20			110		160
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella		30			10		3
6			Peridinium sp.					10		20
7	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas akrokomos			+				
8			Mallomonas spp.			+		10		20
9		珪藻	Asterionella formosa		3870			4430		2940
10			Attheya zachariasii			+		10		170
11			Aulacoseira ambigua		430			1410		1210
12			Aulacoseira granulata		1080			440		620
13			Fragilaria crotonensis		5460			7410		2970
14			Rhizosolenia longiseta			+				
15			Synedra acus		10			+		
16			Synedra berolinensis			+				
17			Thalassiosiraceae-5		160			390		440
18			Thalassiosiraceae-10		30					40
19			Thalassiosiraceae-25		10					10
20	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.			+		+		100
21	緑色植物	緑藻	Chlamydomonas spp.		10			60		80
22			Coelastrum spp.		160			320		240
23			Elakatothrix spp.			+		120		+
24			Eudorina spp.							960
25			Oocystis spp.		80			100		150
26			Pandorina morum					+		320
27			Pediastrum boryanum		30			70		560
28			Pediastrum duplex			+		+		+
29			Pediastrum tetras							+
30			Pediastrum sp.					+		+
31			Planktosphaeria gelatinosa		810			1410		2060
32			Scenedesmus bicaudatus							40
33			Scenedesmus spp.			+		+		
34			Schroederia setigera		20			10		
35			Schroederia spiralis							30
36			Sphaerocystis schroeteri		730			80		480
37			Staurastrum spp.		1			+		
38			CHLOROPHYCEAE							210
39	輪形動物	輪虫	Keratella sp.							1
40			Polyarthra sp.					1		
41			Trichocercidae							1
42			EUROTATOREA							2
43	繊毛虫	多膜口	Tintinnopsis sp.							1
44		—	CILIOPHORA				6			3
45	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA				4			1
46	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)		160			190		70
47			鞭毛藻		160			370		60
48			鞭毛虫		150			160		140
総数					13421			17161		14142
種類組成					藍藻	0		40		30
					クリプト藻	20		110		160
					渦鞭毛藻	30		20		23
					黄金色藻	0		10		20
					珪藻	11050		14090		8400
					ユーグレナ藻	0		0		100
					緑藻	1841		2170		5130
					その他の植物性	320		560		130
					動物性	160		161		149
検査条件					固定条件	定量試料：グルタールアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理				
					分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。				
					検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、 倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。				
備考					<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 					

亀山ダム貯水池

採取地		採取年月日		堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
				H21.7.8	H21.7.8	H21.7.8
採取時刻				11:00	11:42	10:24
全水深 (m)				17.4	15.9	16.8
採取水深 (m)				0.20	0.20	0.20
採取水量 (ml)				100	100	100
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (直線トリコーム)	(410)	(10)	(990)
2			Anabaena (螺旋トリコーム)	(+)		(+)
3			Microcystis aeruginosa	+		+
4			Oscillatoria sp.	(+)		
5	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	230	550	190
6	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	+	10	
7	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.		1	
8		珪藻	Asterionella formosa	50	230	160
9			Attheya zachariasii		+	+
10			Aulacoseira ambigua		70	
11			Aulacoseira distans		200	20
12			Aulacoseira granulata		+	
13			Fragilaria construens	+		
14			Fragilaria crotonensis	300	+	330
15			Rhizosolenia longiseta		10	
16			Synedra acus	+		10
17			Thalassiosiraceae-5	140	11300	
18			Thalassiosiraceae-10	+	840	10
19			Thalassiosiraceae-25		30	
20	ユーグレナ植物		ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	+	30
21	緑色植物	緑藻	Carteria sp.	+		
22			Chlamydomonas spp.	+	120	10
23			Closterium spp.		3	
24			Coelastrum spp.	640	240	320
25			Dictyosphaerium spp.			120
26			Eudorina elegans	160	+	320
27			Eudorina sp.	1920	320	2400
28			Golenkinia radiata	+		
29			Gonium pectorale		+	
30			Nephrocytium sp.		+	
31			Oocystis spp.	+	+	+
32			Pandorina morum	16		
33			Pediastrum duplex		160	
34			Planktosphaeria gelatinosa	+	80	80
35			Pleodorina sp.	+		
36			Scenedesmus denticulatus		40	
37			Scenedesmus quadricauda	+	+	
38			Schroederia setigera		+	
39			Schroederia spiralis		+	
40			Sphaerocystis schroeteri	+	+	+
41			Staurastrum spp.	2	1	6
42			Volvox sp.	+		
43				CHLOROPHYCEAE	10	10
44	節足動物	甲殻	CRUSTACEA	1		1
45	輪形動物	輪虫	Polyarthra spp.	6		1
46	繊毛虫	一	CILIOPHORA	2	2	2
47	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	Amoeba sp.			1
48		真正太陽虫	HELIOZOA	1	1	1
49	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	40	440	40
50			鞭毛藻	60	180	40
51			鞭毛虫	20	80	80
総数				4008	14958	5142
種類組成		藍藻		410	10	990
		クリプト藻		230	550	190
		渦鞭毛藻		0	10	0
		黄金色藻		0	1	0
		珪藻		490	12680	530
		ユーグレナ藻		0	30	0
		緑藻		2748	974	3266
		その他の植物性動物		100	620	80
		動物性		30	83	86
検査条件		固定条件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
		分離条件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
		検鏡条件		定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレバートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。		
備考						
<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレバートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞殻構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 						

亀山ダム貯水池

採取地		採取年月日		堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
		H 21. 8. 6		H 21. 8. 6	H 21. 8. 6	H 21. 8. 6	
採取時刻		11:45		12:15	11:10		
全水深 (m)		17.5		15.6	16.5		
採取水深 (m)		0.20		0.20	0.20		
採水量 (ml)		100		100	100		
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (直線トリコーム)	(1500)	(2370)	(1150)	
2			Anabaena (螺旋トリコーム)			(+)	
3			Anabaena (不規則トリコーム)		(20)		
4			Aphanizomenon spp.	(70)	(40)		
5			Aphanocapsa sp.			(+)	
6			Aphanothece sp.			(+)	
7			Coelosphaerium spp.	(10)	(10)	(+)	
8			Microcystis aeruginosa	9400	680	1720	
9			Microcystis wesenbergii		+	1460	
10			Oscillatoria spp.	(+)		(20)	
11	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	720	430	770	
12	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	5	27	10	
13			Peridinium spp.		5		
14	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	2	+	+	
15			ラフィド藻	RHAPHIDOPHYCEAE	+		
16		珪藻	Attheya zachariasii	10	40	20	
17			Aulacoseira ambigua		50		
18			Aulacoseira distans	40	20	20	
19			Aulacoseira granulata	+		20	
20			Fragilaria crotonensis			60	
21			Rhizolenia longiseta				+
22			Synedra acus	10	+	10	
23			Synedra ulna				1
24			Thalassiosiraceae-5	60	20	60	
25			Thalassiosiraceae-10	60	40	10	
26			Thalassiosiraceae-25	10	+		
27	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	3	+	20	
28	緑色植物	緑藻	Chlamydomonas spp.	60	40		
29			Coelastrum spp.	160	+	+	
30			Eudorina elegans			160	
31			Eudorina spp.	160	480		
32			Monoraphidium sp.	+			
33			Oocystis spp.	50	+	10	
34			Pediastrum simplex	160			
35			Pediastrum sp.	+			
36			Planktosphaeria gelatinosa	+	80		
37			Schroederia setigera			50	
38			Schroederia spiralis			+	
39			Schroederia spp.	30	10		
40			Sphaerocystis schroeteri			+	
41			Staurastrum spp.	4	5	6	
42		CHLOROPHYCEAE		110			
43	節足動物	甲殻	CRUSTACEA			1	
44	繊毛虫	キネトフラグミノフォーラ	Coleps spp.	12	2	1	
45			CILIOPHORA	6	2	1	
46	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	2			
47	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	20		20	
48			鞭毛藻	60	120	40	
49			鞭毛虫	200	480	400	
総数				12824	5141	5980	
種類組成							
藍藻				10980	3120	4350	
クリプト藻				720	430	770	
渦鞭毛藻				5	32	10	
黄金色藻				2	0	0	
珪藻				190	230	141	
ユーグレナ藻				3	0	20	
緑藻				624	725	226	
その他の植物性動物性				80	120	60	
				220	484	403	
検査条件				固定条件 定量試料：グルタールアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理			
				分離条件 定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。			
				検鏡条件 定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。			
備考							
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 							

亀山ダム貯水池

採取地			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日			H 21. 9. 17	H 21. 9. 17	H 21. 9. 17
採取時刻			11:24	11:57	10:52
全水深 (m)			17.4	15.4	16.7
採取水深 (m)			0.20	0.20	0.20
採水量 (ml)			100	100	100
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Coelosphaerium spp.	(10)	(+)
2	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	80	140
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	10	+
4			Peridinium spp.		30
5	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas akrokomos		+
6			Mallomonas spp.	+	+
7			CHRYSOPHYCEAE	320	320
8		ラフィド藻	RHAPHIDOPHYCEAE		+
9		珪藻	Aulacoseira ambigua	40	40
10			Aulacoseira granulata		720
11			Fragilaria crotonensis	1320	1770
12			Thalassiosiraceae-10	20	20
13			Thalassiosiraceae-25		10
14	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	+	10
15	緑色植物	緑藻	Chlamydomonas spp.	50	10
16			Closteriopsis longissima	20	50
17			Closterium spp.		30
18			Crucigenia quadrata		80
19			Eudorina spp.		80
20			Oocystis spp.	120	20
21			Pediastrum duplex		320
22			Planktosphaeria gelatinosa	2040	500
23			Scenedesmus quadricauda		40
24			Schroederia setigera	30	20
25			Schroederia spp.	20	40
26			Staurastrum spp.	30	30
27			Tetraspora sp.	80	
28	輪形動物	輪虫	Keratella sp.		+
29			Polyarthra sp.		1
30	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	120	20
31			鞭毛藻	20	60
32			鞭毛虫		20
総数			4330	3471	5300
種類組成					
		藍藻	10	0	0
		クリプト藻	80	140	130
		渦鞭毛藻	10	30	0
		黄金色藻	320	0	320
		珪藻	1380	2510	1880
		ユーグレナ藻	0	10	20
		緑藻	2390	740	2870
		その他の植物性動物	140	20	60
			0	21	20
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
			検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。	
備考			<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 		

亀山ダム貯水池

採取地			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日			H21.10.5	H21.10.5	H21.10.5
採取時刻			11:45	12:30	11:10
全水深(m)			17.4	15.8	16.4
採取水深(m)			0.20	0.20	0.20
採水量(ml)			100	100	100
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Coelosphaerium sp.	(10)	(10)
2	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	150	490
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	+	30
4			Peridinium spp.	+	10
5	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas akrokomos		20
6			Mallomonas sp.		+
7		ラフィド藻	RHAPHIDOPHYCEAE	+	
8		珪藻	Asterionella formosa	380	200
9			Attheya zachariasii	20	
10			Aulacoseira ambigua		40
11			Aulacoseira granulata	120	70
12			Fragilaria crotonensis	1900	1300
13			Synedra acus		10
14			Thalassiosiraceae-5		10
15			Thalassiosiraceae-10	20	20
16	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	30	30
17	緑色植物	緑藻	Chlamydomonas spp.	20	+
18			Closterium spp.	+	+
19			Monoraphidium sp.		10
20			Oocystis spp.	30	30
21			Pediastrum simplex		160
22			Pediastrum sp.	+	
23			Planktosphaeria gelatinosa	360	270
24			Scenedesmus denticulatus	40	
25			Scenedesmus ecornis		40
26			Scenedesmus quadricauda		40
27			Schroederia setigera	+	20
28			Schroederia spp.	20	20
29			Staurastrum spp.	650	600
30			CHLOROPHYCEAE	30	40
31	節足動物	甲殻	CRUSTACEA	1	
32	輪形動物	輪虫	Keratella sp.		1
33	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	20	20
34			鞭毛藻	80	40
総数			3881	3310	3371
種類組成			藍藻	10	10
			クリプト藻	150	490
			渦鞭毛藻	0	40
			黄金色藻	0	20
			珪藻	2440	1540
			ユーグレナ藻	30	30
			緑藻	1150	1120
			その他の植物性動物	100	60
				1	0
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定(1%) 定性試料：無処理	
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット(5μmメッシュ)により10倍に濃縮した。	
			検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板(0.1ml)に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡(100~400倍)で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。	
備考			<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に()を付した。 定量検鏡(計数時)において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別(3種類)に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種(Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等)は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径(3サイズ：5μm、10μm、25μm)で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 		

亀山ダム貯水池

採取地		採取年		採取時		採取水		堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
		月 日		時 刻		(m)		H21.11.16	H21.11.16	H21.11.16
						(m)		12:15	12:48	11:33
						(m)		17.3	15.8	16.6
						(ml)		0.20	0.20	0.20
								100	100	100
No.	門	綱	出現種名							
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (直線トリコーム)			(+)				
2			Coelosphaerium spp.			(10)	(10)			
3	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.			290	240	150		
4	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas akrokomos				30	10		
5			Mallomonas spp.			10	10			
6		珪藻	Asterionella formosa			100	80	10		
7			Attheva zachariasii			10	2			
8			Aulacoseira ambigua			100	20	+		
9			Aulacoseira distans			20				
10			Aulacoseira granulata			+	+	+		
11			Fragilaria crotonensis			+	+			
12			Nitzschia sp.				10			
13			Synedra acus				10			
14			Thalassiosiraceae-5			40	60	10		
15			Thalassiosiraceae-10				10	20		
16			Thalassiosiraceae-25			+				
17			BACILLARIOPHYCEAE			10				
18	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.			70	90	30		
19	緑色植物	緑藻	Chlamydomonas spp.			40	+			
20			Chlorella spp.			+		+		
21			Chlorogonium spp.			10	20			
22			Closterium spp.			10	3	20		
23			Coelastrum spp.			240				
24			Crucigenia quadrata				+			
25			Dictyosphaerium sp.					+		
26			Elakathrix spp.			2		+		
27			Monoraphidium spp.			+	+			
28			Nephrocytium sp.			80				
29			Oocystis sp.			10				
30			Pediastrum duplex			+	+			
31			Pediastrum simplex			320	110			
32			Planktosphaeria gelatinosa			80	20	+		
33			Scenedesmus ecornis			+				
34			Scenedesmus spp.			80	+			
35			Schroederia setigera				+			
36			Schroederia spp.			20		10		
37			Staurastrum spp.			150	180	80		
38			CHLOROPHYCEAE				10	10		
39	輪形動物	輪虫	Keratella sp.							1
40			Polyarthra sp.			1				
41	繊毛虫	キネトフラク*ミノフォーラ	Coleps sp.			1				
42			CILIOPHORA							2
43	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA			3				4
44	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)			70	40	50		
45			鞭毛藻				10			
46			鞭毛虫			1	40	30		
総数						1778	1005	437		
種類組成						藍藻	10	10	0	
						クリプト藻	290	240	150	
						渦鞭毛藻	0	0	0	
						黄金色藻	10	40	10	
						珪藻	280	192	40	
						ユーグレナ藻	70	90	30	
						緑藻	1042	343	120	
						その他の植物性動物	70	50	50	
							6	40	37	
検査条件		固定条件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理						
		分離条件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。						
		検鏡条件		定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、 倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレバートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。						
備考		<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレバートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、1.0 μm、2.5 μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞殻構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 								

亀山ダム貯水池

採取地			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋		
採取年月日			H21.12.1	H21.12.1	H21.12.1		
採取時刻			13:25	14:40	11:47		
全水深 (m)			17.4	15.6	16.6		
採取水深 (m)			0.20	0.20	0.20		
採取水量 (ml)			100	100	100		
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Coelosphaerium spp.	(+)	(+)		
2			Microcystis aeruginosa	+	+		
3	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	50	120		
4			Mallomonas akrokomos		10		
5	不等毛植物	珪藻	Mallomonas spp.		10		
6			Asterionella formosa	+	+		
7			Attheva zachariasii		+		
8			Aulacoseira ambigua		+		
9			Aulacoseira distans	40	+		
10			Aulacoseira granulata		+		
11			Fragilaria crotonensis	+			
12			Nitzschia sp.	10			
13			Synedra acus	+	+		
14			Thalassiosiraceae-5	20	60		
15			Thalassiosiraceae-10	10			
16			Thalassiosiraceae-25	10	+		
17	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	40	30		
18	緑色植物	緑藻	Actinastrum hantzschii		+		
19			Chlamydomonas spp.		10		
20			Closterium spp.	+	+		
21			Gloeocystis spp.	+	+		
22			Oocystis sp.		+		
23			Planktosphaeria gelatinosa		+		
24			Schroederia setigera		+		
25			Sphaerocystis schroeteri	80	+		
26			Staurastrum spp.	80	100		
27			輪形動物	輪虫	Keratella sp.		1
28					Polyarthra sp.		1
29			肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	5	3
30	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)		160		
31			鞭毛藻	20	80		
32			鞭毛虫				
総数			365	595	524		
種類組成			藍藻	0	0		
			クリプト藻	50	120		
			渦鞭毛藻	0	0		
			黄金色藻	0	30		
			珪藻	90	60		
			ユーグレナ藻	40	30		
			緑藻	160	110		
			その他の植物性動物	20	240		
				5	84		
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理			
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。			
			検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。			
備考							
<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属, Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm, 1.0 μm, 2.5 μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 							

亀山ダム貯水池

採取地 点			堤体直上流部	小 月 橋	亀 山 大 橋	
採 取 年 月 日			H 22. 1. 13	H 22. 1. 13	H 22. 1. 13	
採 取 時 刻			11:40	12:25	11:00	
全 水 深 (m)			17.0	15.2	16.4	
採 取 水 深 (m)			0.20	0.20	0.20	
採 水 量 (ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出 現 種 名			
1	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	20	30	
2	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium sp.		10	
3	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas akrokomos		10	
4			Mallomonas spp.	1	20	
5		珪藻	Asterionella formosa	+	+	
6			Aulacoseira ambigua	210	80	
7			Aulacoseira distans	10	40	
8			Nitzschia sp.	+		
9			Synedra acus	+	10	
10			Thalassiosiraceae-5	560	1140	
11			Thalassiosiraceae-10	40	50	
12			Thalassiosiraceae-25	+	+	
13	ユーグレナ植物		ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	10	60
14	緑色植物		緑藻	Chlamydomonas spp.	10	20
15		Chlorella spp.		+	+	
16		Closterium spp.		4	1	
17		Elakatothrix sp.		+		
18		Monoraphidium spp.		10	10	
19		Oocystis spp.		10	10	
20		Planktosphaeria gelatinosa		+	+	
21		Scenedesmus ecornis		+		
22		Scenedesmus quadricauda			+	
23		Scenedesmus sp.		40		
24		Staurastrum spp.		10	20	
25		CHLOROPHYCEAE		10	40	
26	輪形動物	輪虫	Synchaeta sp.		1	
27	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)		20	
28			鞭毛藻	20	40	
29			鞭毛虫		40	
総 数			965	1621	2318	
種 類 組 成			藍 藻	0	0	
			ク リ プ ト 藻	20	30	
			渦 鞭 毛 藻	0	10	
			黄 金 色 藻	1	20	
			珪 藻	820	1320	
			ユ ー グ レ ナ 藻	10	60	
			緑 藻	94	101	
			そ の 他 の 植 物 性 動 物 性	20	40	
検 査 条 件			固 定 条 件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定 (1%) 定性試料：無処理		
			分 離 条 件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット (5 μmメッシュ) により10倍に濃縮した。		
			検 鏡 条 件	定量試料：標準プランクトン計数板 (0.1ml) に検鏡試料を注入し、 倒立型顕微鏡 (100~ 400倍) で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。		
備 考						
<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に () を付した。 ・定量検鏡 (計数時) において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別 (3種類) に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径 (3サイズ: 5 μm, 10 μm, 25 μm) で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 						

亀山ダム貯水池

採取地			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋		
採取年月日			H 22. 2. 1	H 22. 2. 1	H 22. 2. 1		
採取時刻			11:17	11:40	10:45		
全水深 (m)			16. 1	14. 3	15. 4		
採取水深 (m)			0. 20	0. 20	0. 20		
採水量 (ml)			100	100	100		
No.	門	綱	出現種名				
1	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	70	220	60	
2	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	80	40	60	
3	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.			1	
4			Synura spp.		+	+	
5		珪藻	Asterionella formosa	140	+	160	
6			Aulacoseira ambigua	+		+	
7			Aulacoseira distans	+	+	+	
8			Nitzschia sp.	+		+	
9			Synedra acus	50	+	+	
10			Thalassiosiraceae-5	8680	2960	4900	
11			Thalassiosiraceae-25	+	+	+	
12	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	50	110	20	
13	緑色植物	緑藻	Chlamydomonas spp.	60	10	30	
14			Closteriopsis longissima	20		+	
15			Closterium spp.	2			
16			Golenkinia radiata			10	
17			Monoraphidium sp.	+			
18			Scenedesmus spp.	+		+	
19			Sphaerocystis schroeteri			+	
20			Staurastrum spp.	10	+	30	
21	繊毛虫		-	CILIOPHORA			1
22	不明プランクトン			微小鞭毛藻 (5 μm以下)	180	140	140
23			鞭毛藻	380	340	320	
24			鞭毛虫			20	
総数			9722	3820	5752		
種類組成			藍藻	0	0	0	
			クリプト藻	70	220	60	
			渦鞭毛藻	80	40	60	
			黄金色藻	0	0	1	
			珪藻	8870	2960	5060	
			ユーグレナ藻	50	110	20	
			緑藻	92	10	70	
			その他の植物性動物	560	480	460	
				0	0	21	
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理			
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。			
			検鏡条件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。			
備考			<ul style="list-style-type: none"> ・定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 				

亀山ダム貯水池

採取地 点			堤体直上流部	小 月 橋	亀 山 大 橋
採 取 年 月 日			H 22. 3. 18	H 22. 3. 18	H 22. 3. 18
採 取 時 刻			12:00	12:40	11:15
全 水 深 (m)			17.4	15.8	16.4
採 取 水 深 (m)			0.20	0.20	0.20
採 水 量 (ml)			100	100	100
No.	門	綱	出 現 種 名		
1	藍色植物	藍藻	Anabaena (螺旋トリコーム)	(+)	(+)
2	クリプト植物	クリプト藻	Cryptomonas spp.	280	260
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium spp.		+
4			Peridinium spp.	200	+
5	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon sp.		+
6			Mallomonas akrokomos	80	230
7			Mallomonas spp.	80	70
8			Synura spp.	670	420
9		珪藻	Asterionella formosa	+	20
10			Aulacoseira ambigua	+	
11			Aulacoseira distans	+	+
12			Fragilaria crotonensis		+
13			Nitzschia spp.		
14			Skeletonema potamos	20	
15			Synedra acus	60	60
16			Synedra berolinensis		+
17			Synedra sp.		+
18			Thalassiosiraceae-5	7800	3860
19			Thalassiosiraceae-10	470	210
20			Thalassiosiraceae-25	30	10
21	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	200	70
22	緑色植物	緑藻	Chlamydomonas spp.	530	470
23			Closterium sp.		1
24			Crucigenia lauterbornii		40
25			Dictyosphaerium sp.		
26			Golenkinia radiata	10	10
27			Micractinium sp.		+
28			Monoraphidium spp.	60	10
29			Pandorina morum		
30			Pediastrum duplex		+
31			Scenedesmus sp.	+	
32			Schroederia setigera		+
33			CHLOROPHYCEAE		40
34	輪形動物	輪虫	Polyarthra sp.		1
35			Synchaeta sp.		1
36			EUROTATOREA	3	3
37	織毛虫	-	CILIOPHORA	2	8
38	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	17	
39	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	60	80
40			鞭毛藻	260	100
41			鞭毛虫	440	120
総 数			11302	6094	4976
種 類 組 成			藍藻	0	0
			クリプト藻	280	260
			渦鞭毛藻	200	0
			黄金色藻	830	720
			珪藻	8410	4160
			ユーグレナ藻	200	70
			緑藻	600	571
			その他の植物性	320	180
			動物	462	133
検 査 条 件			固 定 条 件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
			分 離 条 件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
			検 鏡 条 件	定量試料：標準プランクトン計数板（0.1ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：プレパラートを作成し、正立型顕微鏡で検鏡した。	
備 考					
<ul style="list-style-type: none"> 定性検鏡において、永久プレパラートを作成して珪藻綱の種の確認を行った。 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Anabaena 属の種は、同定が困難であるためトリコームの形態別（3種類）に各々計数した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属と藍藻綱 Raphidiopsis 属は、異質細胞形成の有無で同定されるため特徴的な種以外は区別せずに Aphanizomenon 属として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種 (Cyclotella 属, Stephanodiscus 属等) は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm, 10 μm, 25 μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Nitzschia acicularis は、類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結節の違いからAulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 					